

# WING NEWS

HONDA FLYING CLUB



HONDA FLYING SCHOOL

1997 AUG



*Stinger Starbuck*

## Curtiss B-20 Condor Transport

Country of origin: U.S.A.1929

Type: 18-passengers and two pilot air-liner. (The sixth B-20 Condor Transport was the last of the Condor G-6Series NC728K be longed to Transcontinental Air Transport—ancestor of TWA—.

Powerplant: Two Curtiss liquid cooled in-line 12-cylinder. Geared GV-1570 Conqueror engines-600hp each.

Dimensions: Wing span 91ft 8in(29.69m); length 57ft6 7/16in(17.43m); wing area 1510sq.ft(141.78m<sup>2</sup>).

Performance: Maximum speed 139mph(223kph); range at cruise 515miles (828km).

First flight: 1929

145

# コングラッチュレーションズ

教官から  
ひとこと

## ●ファーストソロ



飯田芳之さん

平成9年6月5日 JA4025

当日は久しぶりのR/W32で、やや左からのクロスウインドでしたが、しっかり基本をおさえたみごとな着陸でした。

伊藤教官



佐山賀一さん

平成9年7月2日 JA4025

飛行機が好きで、飛ぶ事が好きで始めました。

ソロが近づくとつれりキミが出て思い悩む日が続きましたが、7月2日は体調も良く、WXも良く、見事初単独飛行に出ました。おめでとうございます。

大坂教官

## ●実地試験合格 教育証明



荻原俊博さん

平成9年5月26日 JA3937

合格おめでとうございます。訓練期間は2月初から約3ヵ月半、途中、学科試験受験をはさみ、大変忙しい日程となりましたが、持前のパワーで見事に達成されました。

引続き日本航空(株)ナバ訓練所に着任のご予定ですが、技能審査員として桶川での訓練の成果を発揮して下さい。

山本教官

## 自家用操縦士



緒方哲郎さん

平成9年5月30日 JA3936

大島クロスカントリーで約4ヶ月程天候待ちをしたものの、訓練は順調にこなし、非常に優秀な訓練生でした。

それまでの間に航空無線通信士、自家用学科と難なく合格し、実地試験において実力を発揮、見事合格しました。今後はライセンスラーとして安全飛行に心掛けて下さい。

大坂教官



宇梶栄さん

平成9年6月25日 JA3935

最高の笑顔、ありがとうございます。長い訓練生活いろいろありましたが、本当にお疲れさまでした。試験官から「着陸は事業用の受験者でもあんなにうまくできる人は少ない」とお誉めの言葉、自信を持ってのんびりフライトして下さい。

石戸教官



## ウイングニュース

○高松に新しくTCAが出来ました。

お気軽に御利用下さい。

コールサイン：タカマツTCA

周波数：119.025MHz

運用時間：0730～2030 JST

高度によっては岡南・岡山空港の上空も入ります。御注意下さい。

○福島空港のエプロン工事の為、H10年3月末までスポットが少なくなっています。外来機が制限されますので十分な調整が必要です。

# 盛会のうちに終了クラブ総会・安全講習会

ホンダフライングクラブ理事 益田正人



5月25日（日）午後2時より、安全講習会および総会が実施されました。

安全講習会は、本田航空の伊藤教官より航空事故例の提示と解説とがあり、事故の怖さと安全飛行の大切さを実感しました。

安全講話は、「医食同源」の著者でもある全日空の前根明機長を講師にお迎えして、有意

義なお話を伺う事が出来ました。

勇ましかった昔のスチュワーデスのエピソード、、、フォークに豚肉を突き刺し、それを見せながら機内食に文句をつけた客に、“Sar, which side of the fork are you talking about?”とやり返した話等に笑いが起こる楽しい雰囲気が始まりました。

続いて本題の「飛行機の操縦と飛行にまつわる話」（副題：小型機からジャンボ機までの共通のフライトテクニック）も71名の参加者全員、外の雨も忘れて一心に聞き入りました。着陸時のテクニックは、今後の技量アップに大いに役立つことと思います。参加された皆さんの、秋の飛行大会でのご活躍が期待されます。

続く総会は、「他の会社や銀行が見たら、涙を流して羨ましがらるでしょう。」という声が出たほど、和気あいあいの内に進行しました。

総会のあとは、本田航空社員食堂に場所を移し、16：30より楽しい懇親会が催されました。安全講話の前根機長から贈られた著書「医食同源」10冊の抽選会もあり、飲み、食い、そして大いに語り合い盛会の内に18：30すぎにお開きとなりました。



## 板橋繁男さんへクラブより感謝をこめて



総会の終わりに、板橋繁男氏へのホンダフライングクラブ表彰が行なわれました。永年のWING NEWSの表紙絵の御協力に対して感謝の意を表したものです。感謝状と木製のプロペラが贈呈されました。このプロペラは濱尾副会長が以前に小型機を自作した際に自ら削りだされた貴重なものを御寄付頂いたものです。尚、板橋氏は今後、名誉会員として残られ、表紙絵についても引き続き御協力いただける事になりました。

### 板橋さんプロフィール

- |  |  |
|--|--|
| 1933 東京都生まれ  | 1992 欧美国際展アメリカ美術賞展出品                                   |
| 1960 前衛美術会第14回展出品 翌年会員<br>以後毎年出品                     | 1993 欧美国際展スペイン美術賞展出品<br>浦和市ギャラリーで「航空絵画」展<br>を開催        |
| 1986 欧美国際展メキシコ美術賞展に出品                                | 1994 所沢航空発祥記念館で航空絵画展<br>「大空のロマン—ノスタルジック・<br>バイプレーン」を開催 |
| 1989 日本画廊で個展「釈迦十大弟子を描く」を開催                           | その他の活動として  |
| 1990 現代日本代表パリ展出品                                     | 講談社児童局、学習研究社、東京書籍、その他の出版社の美術を担当する                      |
| 1991 欧美国際展ペルー美術賞展出品<br>JIAS日本国際美術家協会会員となる<br>以後同展に出品 |  |

### 板橋さんより

成田の航空科学館に展示されている

Aeronca 7AC Champion JA3686—なつかしい機体でした。

入間の石川小佐次さんが操縦していたころ、体験搭乗させていただいたのが私が飛行機に夢中になる切っ掛けでした。

以来、特に旧型飛行機のデザインに興味を持ち、ぼつぼつ資料も集まりだしたころ、図面に基づいたレンダリングを描き始め、航空絵画にのめりこんでいったいきさつです。

いつの日かこれら旧機のレプリカを作りたいという夢を今なお追っています。



## ついに実現！ 横田基地見学会

ホンダフライングクラブ理事 河合秀晃



ついに行って参りました横田基地へ。私の記憶に間違いが無ければ、クラブ主催の横田基地見学会は今回で3回目の試みであったかと思えます。確か4年程前だったように思いますが、「キャラバンで横田へフライン」どの企画がありました。この時は米大統領来日により企画がキャンセルとなってしまったかと思えます。そして今年の3月に予定された見学会はゴア副大統領来日の為にやはりキャンセルとなってしまいました。いずれの際も私は参加を予定しており、もしかすると横田基地と余程相性が悪いのか、それとも普段から横田アプローチにわけのわからない英語でご迷惑をおかけしているバチがあつたのか、と本気で思ったりしておりました。それが今回、やっと願がかんって行かせて頂いたわけであります。

タワーやアプローチコントロールへ入る通路のゲートサイズが狭いために大型観光バスが使えず、当日はマイクロバス2台で本田航空を出発、総勢約40名にて基地へ乗り込みました。土曜日で横田のトラフィックはそう多くはなかったものの、C130、C21、C9、C5、そしてF16等の離発着も間近で見学する事が出来、大感激でした。

RAPCONの見学ではトランスポンダー7700発信の模擬など普段は見ることのできない様子も見学させて頂き、マイクの向こうの謎のアメリカ人といった印象も氷解し、これからはもっと親しみをもって横田アプローチとコンタクト出来るような気がしました。

(RAPCONの皆様、これからも御迷惑をおかけすると思いますが宜しくお願い致します。)  
この他にもタワーや横田エアロクラブを見学させて頂き、最後は基地内のレストラン(将校クラブ)での懇親会で素晴らしいステーキディナーと飲み放題のアメリカンビールで大

満足。大変楽しい1日でありました。

当日、基地内をご案内下さいました横田エアロクラブの横湖さん、そして基地内スタッフの皆様、それからキャラバンJ A8212でスカイダイビングを実施中に我々からのリクエストに応じて何度もトランスポンダーのIDボタンを押して下さった本田航空の小田嶋さん、(きっとそうだと思うんですが) 本当にありがとう御座いました。



ここで紙面をお借りして、横田アプローチのチーフコントローラから一言お願いします!!



フライトの安全の為に、横田アプローチと出来るだけコンタクトして下さい。但し、用語は必要事項だけを簡潔にお願いします。尋ねてもないのに「This is JA4444, Roger, SQ5411 and ident, This is Cessna72, VFR, Going to Oshima, My position is……」と自己紹介を長々とする機体がよくあります。横田アプローチに対してはRead back も必要です。次に交信例を載せておきます。



機体「Yokota App, This is JA4444」

横田「JA4444, Yokota App, SQ5411 and ident」機体(ボイスの送信は不要。トランスポンダーに5411をセットしてIDボタンを押すのみで良い。)

横田「JA4444, Radar contact, 15 miles NE of Yokota, Request climbing altitude。」



機体「JA4444, climbing to 7500。」(聞かれた場合のみ高度を答える。)



ブルーインパルスと共に

## 米空軍50周年エアショーに行きました

5622 宇田川 直彦



岩山とU-2S “忍者”バス

1947年9月18日、アメリカ陸軍航空隊が独立して空軍となり、今年で50年を迎える。それを記念するエアショーが、USAF 50th Anniversary GOLDEN AIR TATTOO と称し、ラスベガスから北北東へ約10nmのネリス空軍基地で、4月25、26日の二日間にわたって開催された。米空軍及び前身の陸軍航空隊の航空機が大集合し、さらに世界各国のアクロチームが招待されて技を競うという、空前のイベントである。

そのような催しの噂は、去年の半ば頃に流れてきた。しかも我らが誇るブルーインパルスも招待されているらしい。もし実現すれば、史上初のブルーインパルスの海外遠征になる。航空祭に通うマニア連は、皆浮き足立っていた。そんなマニアの一人であり、しかも米空軍機のファンの私としては、ツアー募集と同時に申し込んだのは言うまでもない。

私の参加したツアーは、当初見込みが100人ぐらいのところ、殺到する申し込みを全部受け付けたので、400人ぐらいになってしまったとのこと。他のも数社が同様のツアーを企画し、かくして大量の日本人がラスベガスに送り込まれた。ショー当日の朝は、これら各ツアーのバスがネリスのフリーウェイでデッドヒートを繰り広げる事となった。

会場に降り立った私は、一瞬にして思考停止状態に陥った。一番手前にC-130が7機いる。無論ただのC-130は1機だけで、他はA C-130Uスプーキー（地上攻撃機）E C-130 Eコマンドソロ（謀略放送機）など、日本では飛来しただけでも騒ぎになるような珍機だ。そんな光景が見渡す限り続いている。あの彼方には、F-117AもB-24も、平然と置かれているに違いない。喫茶店でいきなり飯島直子と相席になってしまったようなもので、どうしたらいいのかわからない。夢遊病ようにさまよいながら、空を仰いで飛行展示機を追いかけるのみだった。1日めのフィルムには、地上展示機はほとんど写っていない。

その飛行展示だが、1次大戦、2次大戦機から現代の戦闘機、ステルス爆撃機まであらゆるものが休む間も無くやってくる。その合間に、各国のアクロチームである。前宣伝で

スリングスビー T-3A ファイアフライ(T67M)初等練習機 レイセオン T-1A ジェイホーク(ビーチジェット400A)空中給油機/輸送機乗員用練習機





は日、英、仏、伊、露その他が参加予定だったのに対し、結果はヨーロッパ勢は参加ゼロ、参加は地元のサンダーバーズの他はカナダ（スノーバーズ）、ブラジル（エスカドリラ・ダ・フサマ）、チリ（アルコネス）の米大陸勢+日本のみで、アクロチームが目当ての連中はかなりがっかりしていたが、南米のチームなどは見るチャンスが減多にないので、これだけでも収穫だったと思う。日本では知名度の低い南米両チームは、実際に見ると、技量は優秀、観客へのアピールに配慮して演技構成、陽気なナレーションと、優れたものだった。その点、我がブルーインパルスは、正確さとT-4の性能は評価されたと思うが、アピール面でやや堅すぎるのは国民性に致し方ない事だろうか。さらに、いつも観客に受けるキューピッド等の課目が、先に他のチームにやられてしまったのは不運だった。ただ、5機で空中に星を描くスタークロスは、アメリカ人から大喝采を浴びていた。

この夜、同行の連中との“反省会”でこたまビールを吸収した私は、精神の安定を取り戻し、2日目は地上展示機全機の撮影に成功した。落ち着いた見ると、会場の雰囲気は、機体の並べ方や混み具合、日本人が多いことなど、横田のオープンハウスに似ていた、違うのは展示の中味と3倍ぐらいの広さ、それに真っ青な空である。

こうして、36枚撮りリバーサル40本の戦果を残し、初の海外エアショーミッションは無事完遂された。ここに紹介するのは、ホンダクラブの皆様おなじみの民間機の米軍版というマニアックなアイテムである。F-15等メジャー機は航空誌に任せることにする。



ボーイング T-43A (737) 航法練習機



デハビランド・カナダ E-9A (ダッシュ8) ミサイル射場の空域監視/データ中継機



フェアチャイルド C-26B (メトロ) 多用途機  
デハビランド・カナダ UV-18B (DHS-6 ツインオッター) 空軍士官学校のスカイダイビング専用機





## オーストラリア空通信(7)

No.1884 西澤尚道



西澤さん

「少し整備も知っておいた方が良いでしょう。テキストばかりじゃ話にならん。こいつの右エンジンの回転が変なんだ。ちょっとスパークプラグを外せ。」

点火栓の分解、テスト、結線等を教えてもらう。単に手伝わされている気がしなくも無いが、まあ良いか。疑わしき点火栓を交換して、カウリングを外した状態で試運転をするが、依然回転が不調。エンジンはマウントから外れるのではないかと思

うほど激しく振動する。その後、エンジンのシリンダーの一つに問題があることがやっと判明。意外と重傷で、結局Frankの手には負えず、別の飛行場の整備工場まで空輸することとなる。

油まみれで事務所に戻ると自分の通うPearson Aviationから電話が掛かってきた。

「おお、ニシ（こちらでは自分はいこう呼ばれている）か。Sheppartonも結構良い町だろう！」  
陽気に響くのはSenior InstructorのIainの声だ。今日も無理らしい、と伝えると、

「そうだろうと思った。明日のArcherの予約は全部C172に振り替えておいた。安心して、もう一晩ゆっくりしてこい!! これも良い訓練だろう、はは!!」

再び荷物をたたむ。Sheppartonのスクールの校長は帰り際に、

「明日は少しは回復する筈だ。俺は明日は休みだ。もう会えないよう祈ってるよ。」

と言って車に乗った。宿に歩く。チェックインをすると、受付のおばさんが声を掛けてくれた。

「結局無理だったのね。まあ、ゆっくり休んで行きなさい。今月は隣のレストランに8時からバンドが来るから気晴らしに行ってみなさいよ。」

薦められたとおり、夕食後はビールを飲みながらカントリー調の生演奏を楽しむ。旅の最後の夜としては悪くない。「最後」にしなくては…。

7月21日、又も曇天。とぼとぼと飛行場に向かい、気象を取る。若干だが午後には回復の見込み。昨日よりはチャンスはある。ラウンジでパイロット達と雑談をしているとC182RGが着いた。メルボルンの南にあるMoorabbinという飛行場から来たという。パイロット

を捕まえる。

「Kilmore Gap はどうだったかい？」

「悪いな、俺達はIFR で飛んでたんだ。トップは6000ft位あったと思うが、下は判らん。」  
昼過ぎ、やや明るくなったところで南側から双発機が「屋根越え」に成功。切れ目を縫うようにして飛べば何とかなるらしい。意を決してプリフライト、そして燃料をかなり多目に入れる。電話でフライトプランを入れ、代替飛行場を2ヶ所告げる。スタッフに世話になったお礼を言って50時間振りに機上の人となる。

2500ftで問題の空域に近づく。予想外にシーリングが高い。3000ft程度か。レーダーアドバイザーに周波数を移して現在位置を報告すると、間髪を入れず

「This is Melbourne Radar, no other traffic around your area. Radar indicates heavy showers.」

只でさえ狭い空域、他に誰もいないとは有り難い。雨の降る部分を避け、旋回を繰り返してやっとメルボルン側に抜ける。越えた途端に無線の感度も良くなる。飛び慣れたメルボルンの空だ。Essendon RWY26に着陸する頃には更に天候も回復。何だ、あと30分待てばあのようなハラハラドキドキは要らなかったのだ…。

エンジンをシャットダウンし、マスターを切ると一気に力が抜ける。Hobbs Meter を記録する。全飛行時間12.9時間。ハンドリング、気象、航法、色々とパイロットとして良い勉強になった。眼下に広がるオーストラリアの大地は実に様々な表情を見せ、空は時には優しく、時には荒れ狂い、そして人々の温かい心には、我々日本人が忘れ去ろうとしている何かがあった。7日間の喜怒哀楽、全てが大切な思い出だ。

今回のクロカンの写真やチャートを時々引っ張り出してしばし眺める。さて、次はどこへ行こうか、と頭の中でプリーフィングが始まる。インド洋を見に行くか、果てしない大平原を満喫するか…。いやいや、まずは計器飛行証明を取ってからだ。

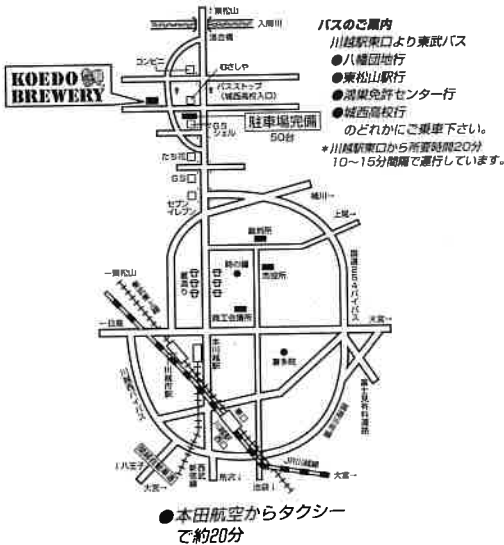
〈終〉

※永い間ご愛読ありがとうございました。また、西澤さんも楽しい記事をありがとうございました。オーストラリアの空を引続き楽しんで下さい。(編)

Flight Planning用具一式。GPSはディスプレイが大型なので大変見易い



川越市福田 59-1  
 ハッピー  
 TEL 0492-28-0800  
 FAX 0492-28-0122



# KOEDO BREWERY

小江戸ブルワリー・川越

今流行の地ビールが川越にもあります。

ドイツのアルブレヒト社製の醸造機を眺めながらログ作りのビアホールで生きた酵母入りのできたてビールが飲めます。この目玉商品は特産のさつま芋を使った「さつま芋ラガー」。甘口で飲みやすく女性に大人気。その他のスタウトやヴァイツィンなどおなじみのビールは飲みあきない生きたうまみが堪能できます。

夕方以降は日によって1時間待ちの時もありますので予約（1人前3000円より）がおすすめです。また有機農産にこだわったドイツ料理もGoodです。

## 新入会員紹介

### フライングクラブ（敬称略）

1945 二宮牧雄 H9.6.8

### フライングスクール

5674 高橋和久 H9.5.25

5675 高柳照夫 H9.5.25

5676 鈴木晴信 H9.6.1

5677 小笠原克之 H9.7.25

# USE CAUTION

操縦練習許可書期限が迫っています（敬称略）

## 9 月中に切れる方

石井正一 H9.9.11      野上 晃 H9.9.17  
川口裕次 H9.9.30      山本利幸 H9.9.4  
小宮正己 H9.9.26  
代田信夫 H9.9.30

## 10 月中に切れる方

狩野博昭 H9.10.14  
長谷川昭一 H9.10.14  
藤原里志 H9.10.14  
吉川菊次郎 H9.10.14

## ●申請に必要なもの

住 民 票 （本籍地記載のもの、発行 3 か月以内）…………… 1 通

練習許可申請書 （身体検査を受診する病院でお受取り下さい）…………… 1 通

④申請書の住所及び本籍は、住民票にある通り、丁目、番地等を略さずに書いて下さい。氏名の後部に朱肉印捺印、また、欄外に捨印を押して下さい。シャチハタ印は不可。

④身体検査の有効期限は 1 か月ですので早目に手続き下さい。

④写真の裏側にかかわらず記名して下さい。

写真（インスタントは不可）たて3cm×よこ2.5cm…………… 2 枚

④H9年4月より写真のサイズが変更になりました。

申請諸費用…………… 3,200円

## ●身体検査の受診場所（事前連絡が必要です。）

宮入内科（有楽町交通会館）…………… 0 3 - 3 2 1 1 - 4 8 4 5

中溝クリニック（港区芝浦東芝ビル 4 F）…………… 0 3 - 3 4 5 2 - 4 4 6 8

国際空港診療所（羽田空港全日空到着ロビー近く）…………… 0 3 - 5 7 5 7 - 1 1 2 2

聖母クリニック（立川市羽衣町 1-7-10）…………… 0 4 2 5 - 2 2 - 5 2 3 4

④身体検査は申請日の 1 か月前以降に受けて下さい。身体検査の申請の為の有効期限は 1 か月です。

## 【個人で操縦練習許可書をお取りになった方へのお願い】

個人で操縦練習許可書の申請を行っておられるスクールの方は、管制区内での操縦練習の許可申請で個人の練習許可番号及び有効期限が必要となりますので、是非お早めに本田航空、運航部まで御連絡下さい。 TEL 0 4 9 2 - 9 9 - 1 1 0 5（運航部直通）

# 学 科 講 習

9 月	
日付	科 目
7日(日)	運 航 一 般 - 1
12日(金)	航 法 - A
14日(日)	気 象 - A
21日(日)	空 中 操 作 - 4
26日(金)	通 信 - 3
28日(日)	法 規 - 1

10 月	
日付	科 目
3日(金)	工 学 - A
17日(金)	運 航 一 般 - 2
24日(金)	気 象 - B
26日(日)	空 中 操 作 - 1
31日(金)	航 法 - A

学科講習受講を希望される方は当日のPM5:30までに運航部（0492-99-1105）  
 まで御連絡下さい。お手数ですがよろしく申し上げます。

## 9月、10月、11月は学科試験対策集中講習です。

問題集が中心の短期集中講習です。予習されて来られることをお勧めします。質問を持って来て下さい。

携行品：自家用操縦士学科試験問題集、その他通常の携行品

教育項目： 工学 2回

- A. 機体及び航空力学 発動機 B. プロペラ 計器 耐空性  
通信 1回

- A. 通信組織 機上電源  
気象 2回

- A. 大気（温度、気圧、安定） 雲 霧 視程 低気圧（台風） 高気圧 気団と前線  
B. 風 着氷 天気図 気象通報式

航法 3回

- A. 航法の目的及び種類 地球の座標及び航空図 航法の要素  
B. 航法計器その他ADF及びVORC. 風力三角形及び航法計算盤 飛行計画

法規 2回

- A. 総則 登録 航空機の安全性 航空従事者 航空路 飛行場及び航空保安施設  
B. 航空機の運航 罰則

11月期学科試験申込締切 （航空局） 10月9日(木) （本田航空）10月7日(火)  
 学科試験実施日 11月16日(日)

# クラブ員の皆様へ

- ・夏が来ました。急な天候の変化が多くなります。飛行計画には余裕をもって、十分に天候確認をおこなってください。
- ・夏季ロングナビゲーション補助実施中です。
  - ・ 9月30日（火）まで（8/9～8/17は1機種のみ）
  - ・ 1人1回 5000円
  - ・ 他空港への着陸を含むこと。

クラブ員の方が乗り合せてFLTしても、PIC時間を有する方全員が補助対象となります。御家族、御友人とどうぞ。

- ・練習許可書に使用する写真のサイズが変わっています。以前のものは使えませんので御注意下さい。
- ・本田航空ではホンダフライングスクール入会希望者及びホンダ車購入希望者を御紹介いただいたクラブ員・スクール生の方に無料飛行券を進呈しております。
  - スクール入会の紹介…1時間飛行券
  - ホンダ車購入希望者の紹介（御成約のみ）  
…20分間飛行券

ウィングニュース 145号

発行者／埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1  
本田航空株式会社内  
ホンダフライングクラブ事務局  
Tel 0492-99-1105(代) 〒350-01

表紙イラスト／板橋 繁男

**HONDA**  
**FLYING CLUB**